

東邦大学学術リポジトリ

Toho University Academic Repository

| | |
|-----------|---|
| タイトル | 黒岩 実教授送別の辞 |
| 別タイトル | Farewell Professor Minoru Kuroiwa |
| 作成者（著者） | 與田,仁志 |
| 公開者 | 東邦大学医学会 |
| 発行日 | 2021.06.01 |
| ISSN | 00408670 |
| 掲載情報 | 東邦医学会雑誌. 68(2). p.30 31. |
| 資料種別 | 学術雑誌論文 |
| 内容記述 | 退任記念 |
| 著者版フラグ | publisher |
| JaLDOI | info:doi/10.14994/tohoigaku.2020_034 |
| メタデータのURL | https://mylibrary.toho-u.ac.jp/webopac/TD16322254 |

黒岩 実教授送別の辞

與田 仁志

東邦大学医学部新生児学講座

黒岩先生、小生より一足先にご退官を迎えられますね、お疲れ様でした。

先生とはお互い、大学病院ではない施設からの赴任であり、多くの共通点があり、顔を合わせるたびに愚痴をこぼす間柄でした。大学組織という、対患者さんという診療をメインにしてやってきた医師にとっては何とも雑務の多い環境でしたが、先生は詰まるどころやはり患者さん中心の診療を貫いてこられました。着任前の群馬県立小児医療センターでは非常に多くの難病の小児外科治療を経験され、東邦大学にとっても多大なるご貢献をされましたことは、皆の感じるところです。NICUで緊急手術があると、真っ先に先生に連絡し、学会途中でも東京に引き返して手術し

ていただいたことは1回や2回ではありませんでした。多くの新生児を助けてくださり、ご家族のみならず我々も感謝しております。

先生は2010年の9月に東邦大学に異動されました。自分の異動の半年後に当たります。当時、小児科主任教授の佐地勉先生がミニ小児病院をイメージされて、小児医療の各分野、特に外科系分野では全国から優秀な医師をかき集めていた時期でした。自分もそうでしたが、大学という組織でやっていけるかどうか不安な日々でしたが、目の前の患者さんに無心で診療しているうちにあっという間に年月が過ぎてしまいました。大学病院は他の研修病院以上に、教員として学生や若い医師に関わる人が多い組織です。小



小児系教授集合写真 2012年3月
(左から、戸倉先生、黒岩先生、佐地先生、小澤先生、與田、小原先生)

児外科を目指す若者たちが集まったのは、そのような環境のもと、先生の病児に向き合う真摯な姿勢を見て、いわば後姿を見て集まって来たのだと思います。あえて、研修医募集に力を入れてこられたようには見えなかったのに素晴らしい求心力と思いました。先生は学会活動でも2018年に日本小児外科学会関東甲信越地方会を開催されるなど、小児外科学会の中でもご活躍されて大いに東邦大学の名を挙

げられたと思います。東邦大学は先生のおかげで、東京に13施設しかない小児外科認定施設となり、後進の育成環境も整いました。若手の小児外科医志望者がここにきて増加し、先生の蒔いた種が花開こうとしています。黒岩先生、10数年の間でしたが、先生と一緒に診療できましたことを誇りに、自分も今しばらく頑張りたいと思います。